

新潟大学 外国語学習支援スペース FL-SALC 平成 29 年度第 2 学期活動報告

<英語>

本稿では、平成 29 年度第 2 学期の英語学習支援活動への参加者数、ならびに「英語チャット」参加者（主に日本人学生）および英語チューター（主に世界各地からの留学生）を対象とするアンケート調査の結果を報告する。ターム制への移行にともなう試験期間の増加により、諸活動（英語チャット、Study Groups、ライティング・センター、発音センター）の実施日数が一週間程度減少したこともあって、利用者数（延べ数）が減少した。その他にも、実施日に関して利用者間で多少混乱がみられたこと、実施期間中であっても第 1・第 3 タームの試験準備で多忙な学生が増加したこと等が考えられる。加えて、英語チャットに関しては、留学生と共に英語で学べる正規科目が増加していることや、人から「教えてもらいたい」という学生がオンライン英会話等に流れている状況が背景にあると思われる。なお、学生主体の活動を促進すべく学生団体との協同を試みたが、次年度につながる活動は生み出せなかった。今後は、今学期から開始したフェイスブック・ページ等を利用して、学生主体の活動の促進に取り組んでいきたい。

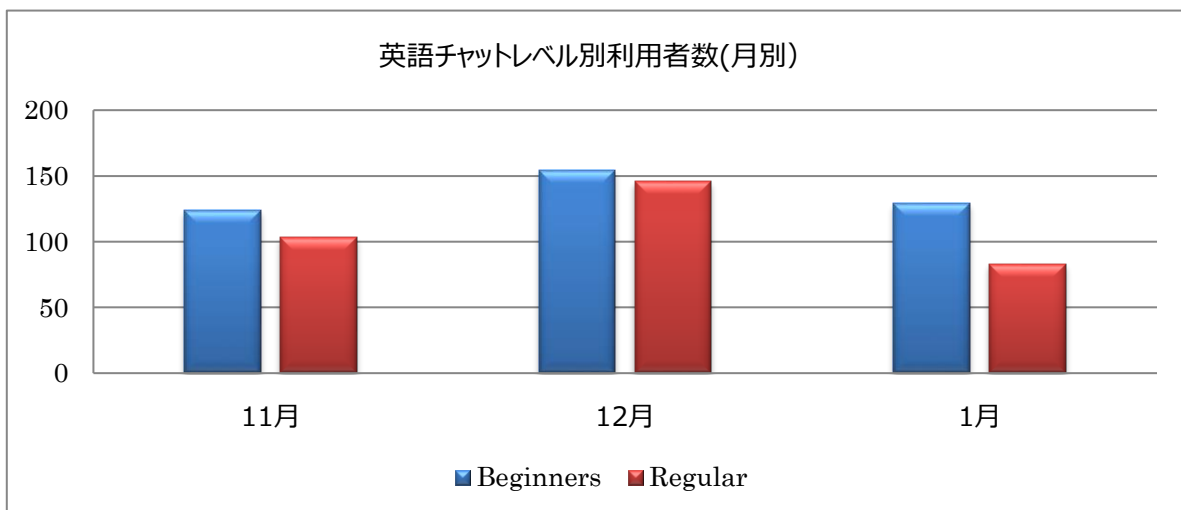
I. 活動参加者数

総数（延べ人数）：1251

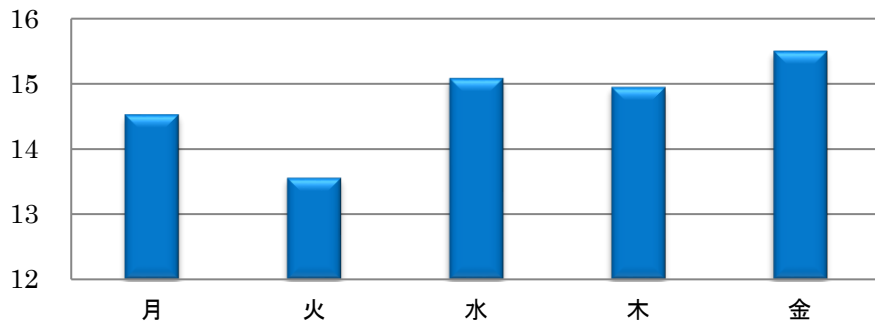
※授業期間中の活動：英語チャット 739、英語学習アドバイジング 34、英語学習チュートリアル 17、
Study Groups 196、アカデミック・ライティング・センター 55、発音センター 55
※授業期間後の活動：春休み英語チャット 94、春休み Study Groups 32
英語学習アドバイジング 11、英語学習チュートリアル 18

I. 授業期間中の活動（10月2日（月）～2月2日（金）学期末試験開始前日）

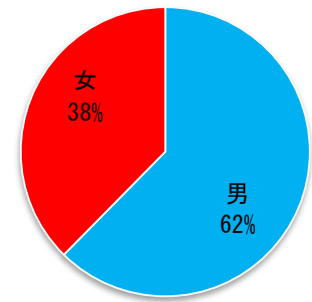
●英語チャット（2階 FL-SALC 内およびその近辺にて実施）



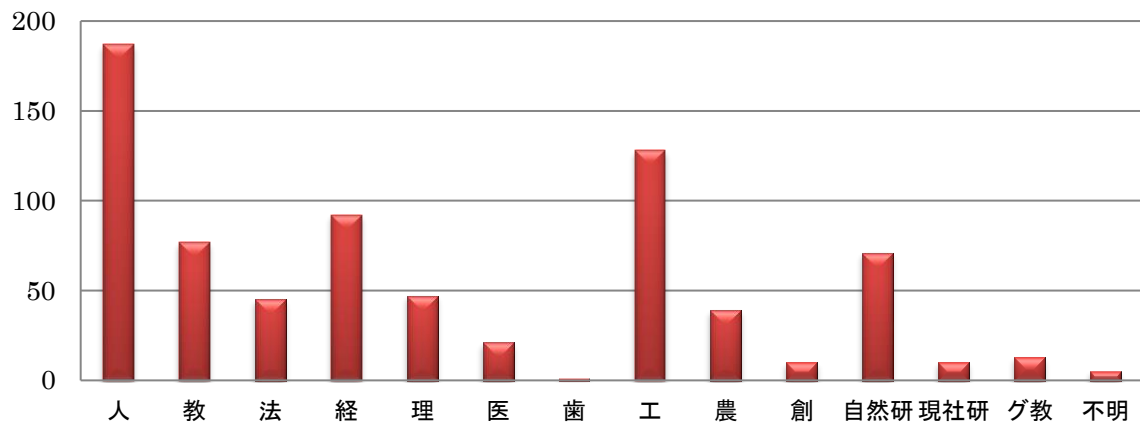
お昼曜日別参加者数（平均）



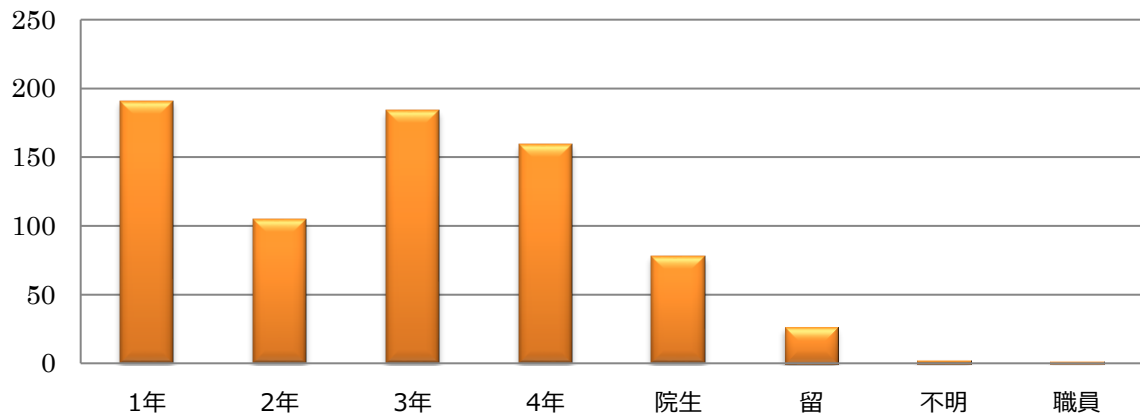
英語チャット（性別）

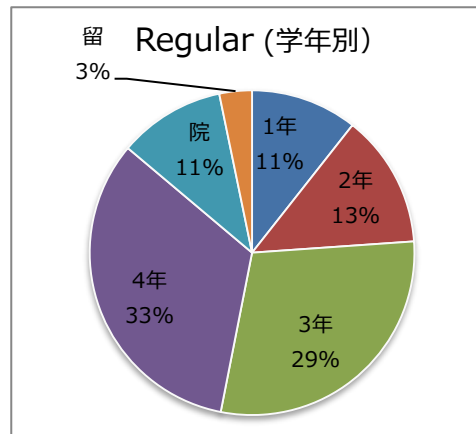
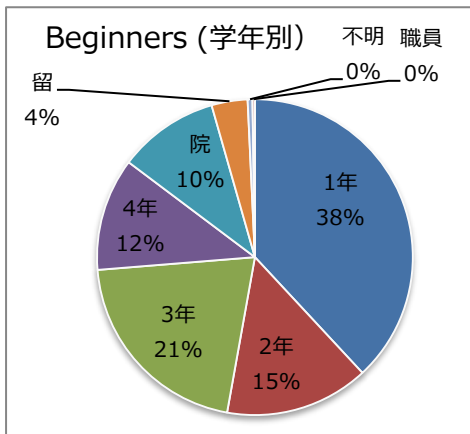
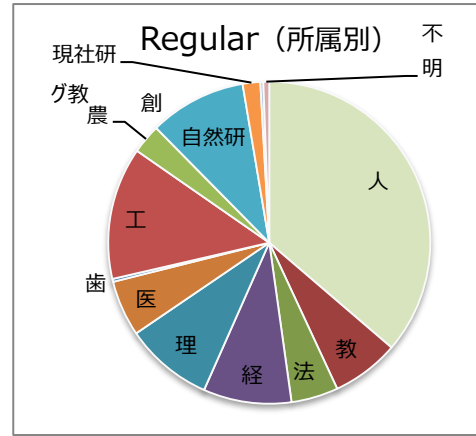
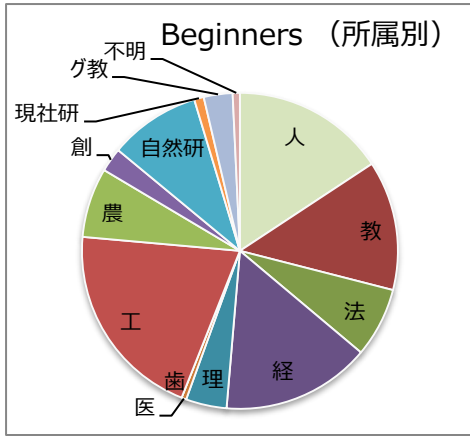


英語チャット（所属別）



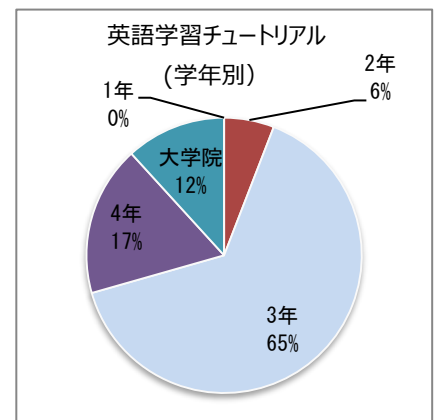
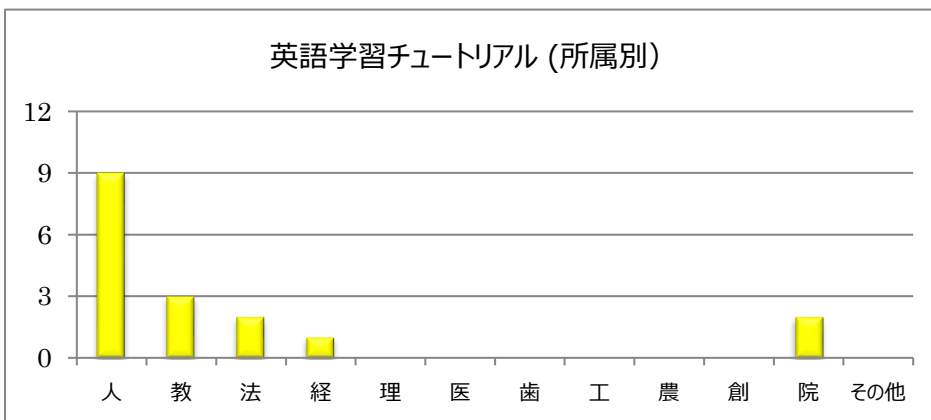
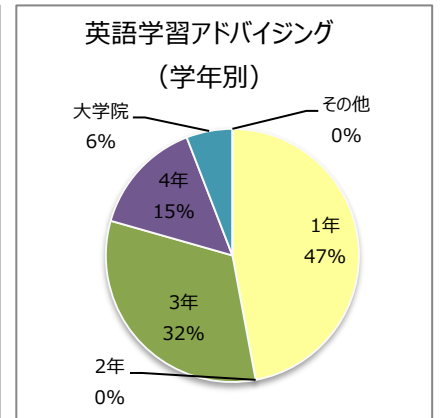
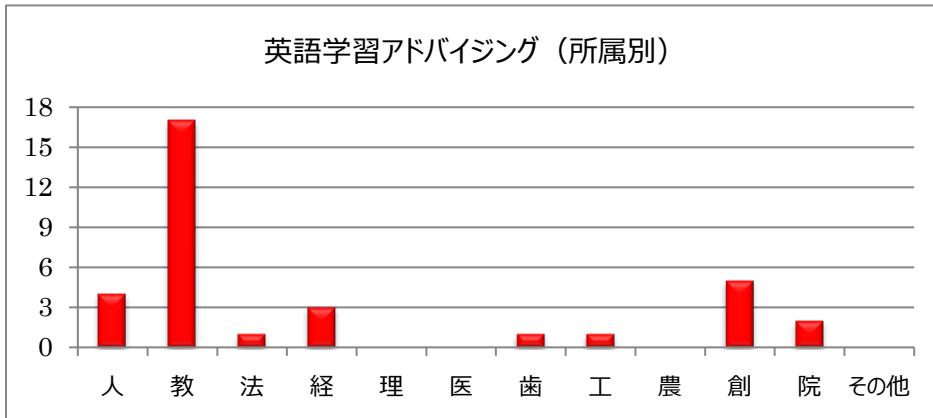
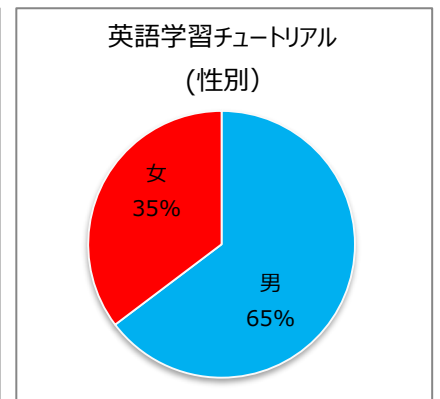
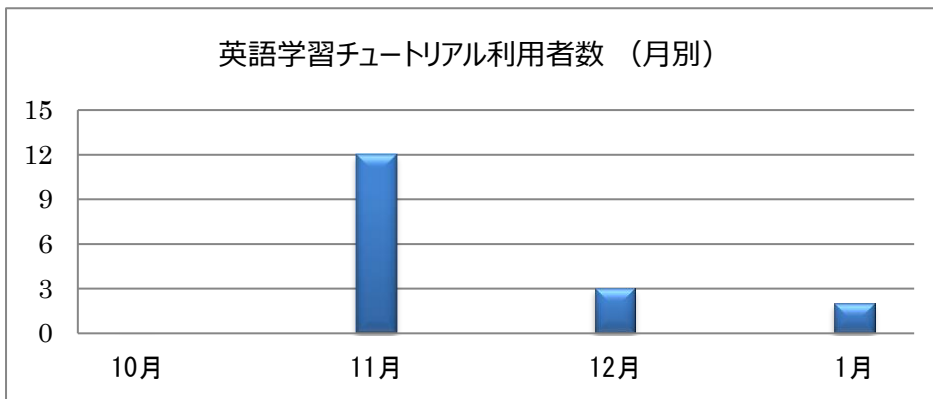
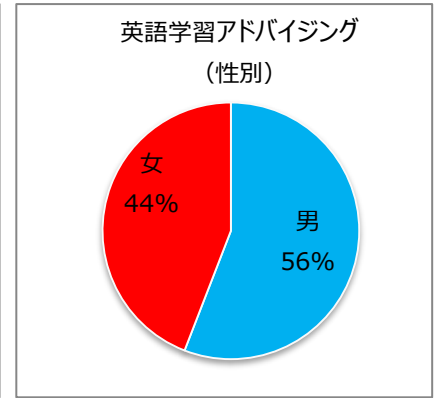
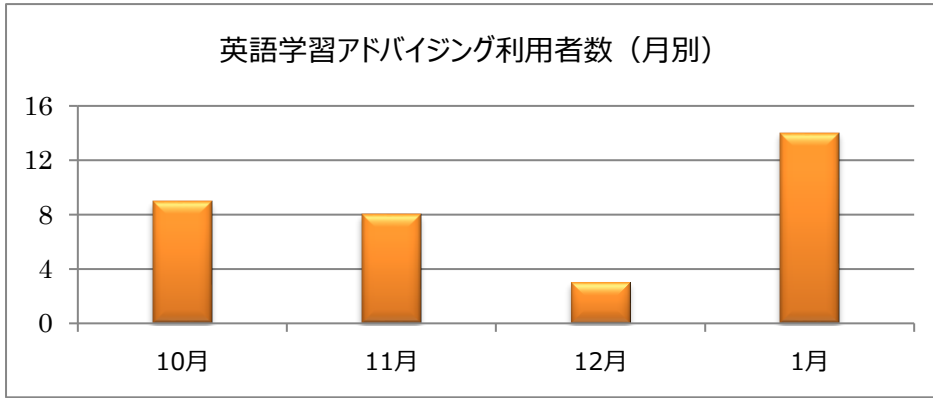
英語チャット（学年別）





- 英語チャットを英語による異文化コミュニケーションの実践の場として位置づけ、教員やアドバイザーは介入せずに学生同士の自主性に任せている。ただし、ビギナーズ英語チャットでは、話のきっかけとなるよう学習アドバイザー作成のアウトラインが用意されている。
- 異文化間コミュニケーションの基礎を理解し、他人にも配慮しつつ積極的に参加できるよう、本学期も利用者向けのマナー&表現集を配付した。
- 様々な文化的背景や価値観を持つ留学生を英語チューターとして14名雇用した。内訳は、スリランカ1名、ドイツ1名、ロシア1名、タイ1名、中国3名、マレーシア3名、フランス4名、であった。
- 今後の課題：
 - ・ チューターを「先生」と考えて、英語を教わるつもりでやってくる学生が少なくない。同世代の仲間同士で英語で話し合う場であることについて周知を図る。

●英語学習アドバイジング&チュートリアル（FL-SALC 内にて実施）



➤ 「英語学習アドバイジング（学習相談）」では主に英語の学び方を学ばせ、「英語学習チュートリアル（個別指導）」では特定スキルの習得に向けた個別指導を提供した。

第2学期の主な相談・指導内容

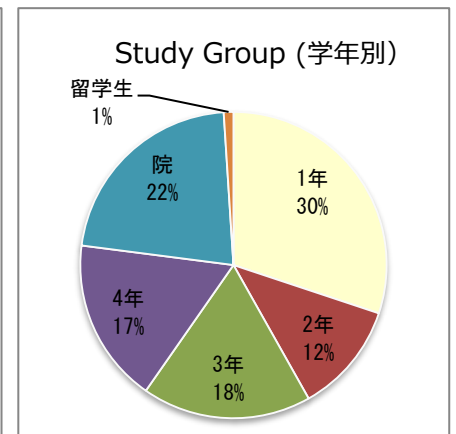
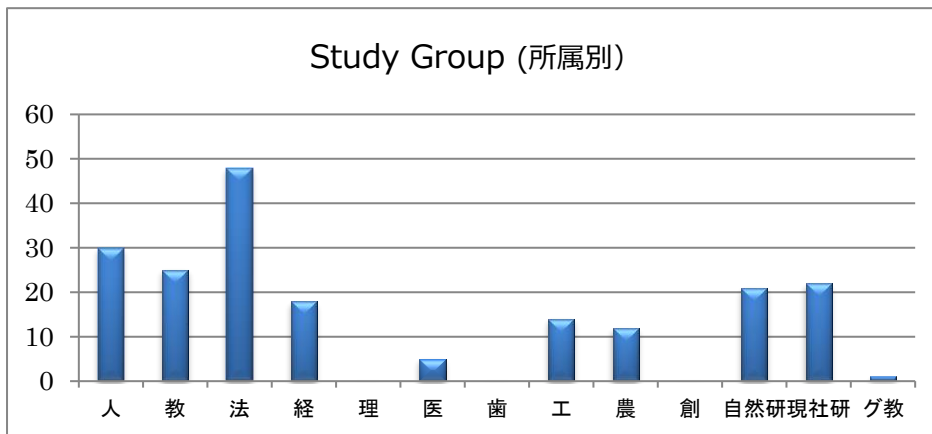
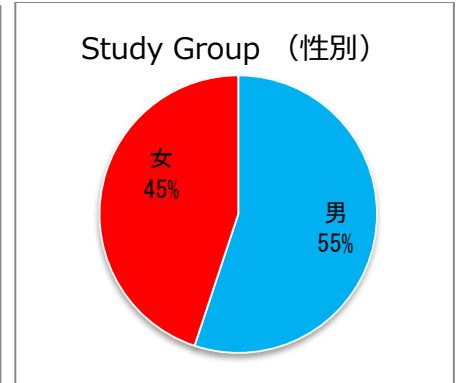
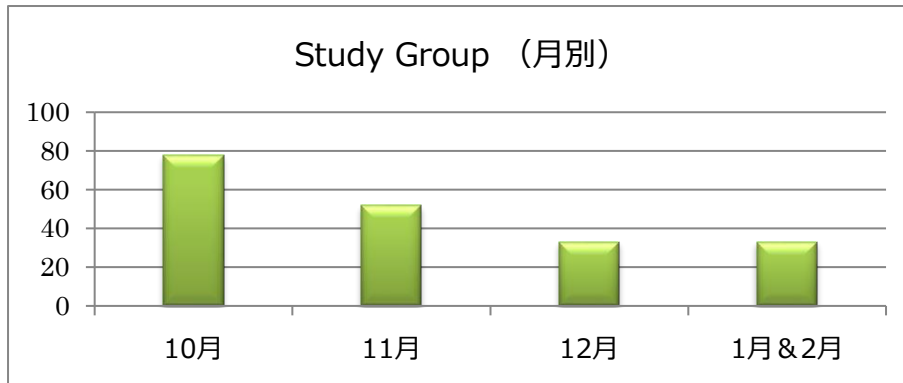
●相談項目

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. TOEIC 対策	50%	60%	0%	29%	44%	40%
2. TOEFL/IELTS 対策	10%	10%	0%	14%	22%	0%
3. その他英語資格に関する質問（英検など）	0%	0%	100%	10%	11%	0%
4. 留学関連：留学先、留学のための学習相談等	0%	0%	0%	14%	22%	20%
5. スピーキングスキルに関する相談	30%	10%	0%	10%	0%	20%
6. リスニング/リーディングスキルに関する相談	0%	10%	0%	0%	0%	0%
7. ライティングスキルに関する相談	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8. 目標設定、学習計画、モチベーション維持に関する相談	10%	10%	0%	10%	0%	0%
9. その他	0%	0%	0%	14%	0%	20%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

➤ 今後の課題

- ・ 一度きりではなく継続的・長期的な利用を促進する。

●登録制 Study Groups (3階グループ学習室にて実施)



➤ 英会話、文法、語彙、検定試験等、テーマ別に小グループでの学習の機会を提供した。

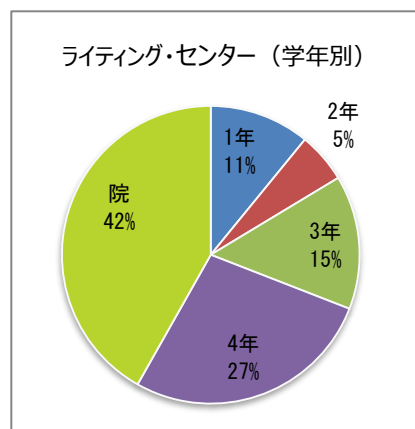
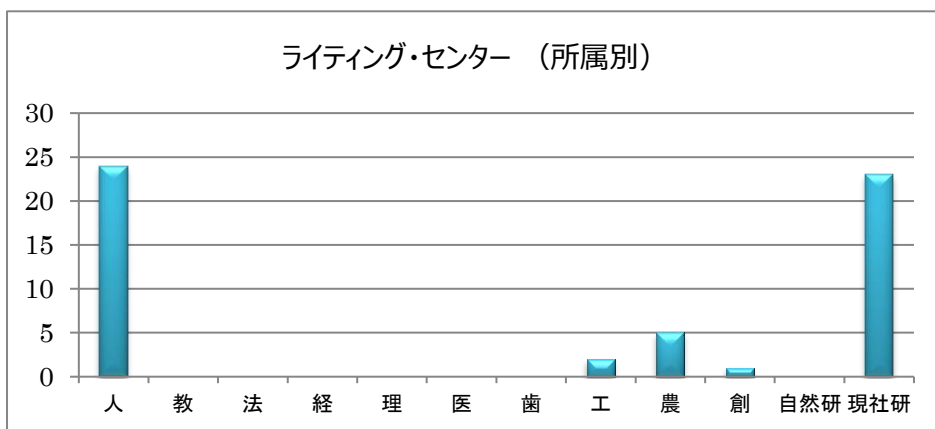
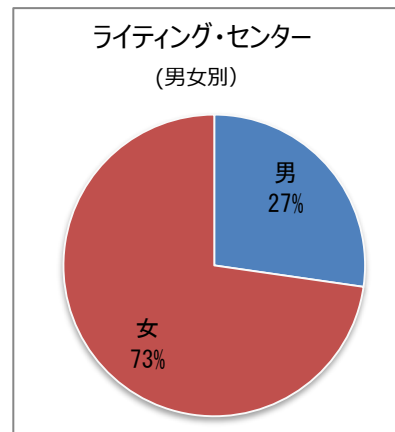
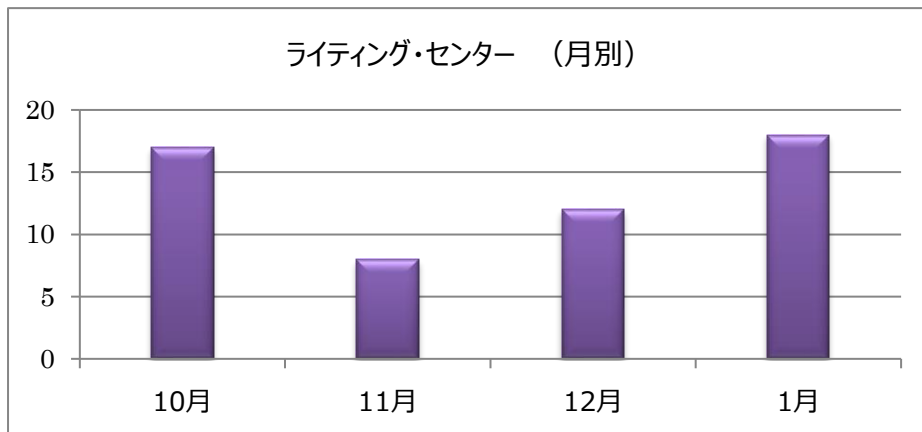
➤ 第2学期 Study Groups

- ・ 月曜 13:05-14:00 「TOEIC リスニング強化」(担当：教育・学生支援機構准教授 奥村圭子)
- ・ 火曜 12:00-12:45 「初めての海外旅行・海外研修」(担当：教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美)
- ・ 木曜 13:05-14:00 「TED でリスニング&スピーキング」(担当：教育・学生支援機構准教授 奥村圭子)
- ・ 金曜 12:00-12:45 「目指せ基本英単語集中マスター」(担当：人文社会・教育科学系准教授 平野幸彦)

➤ 今後の課題：

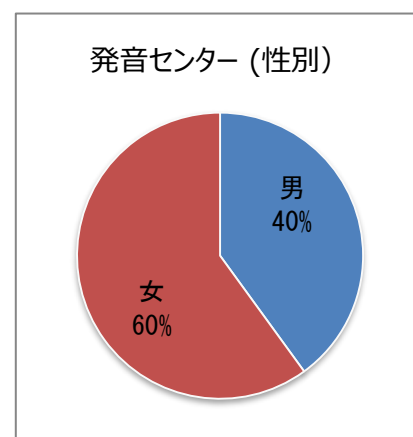
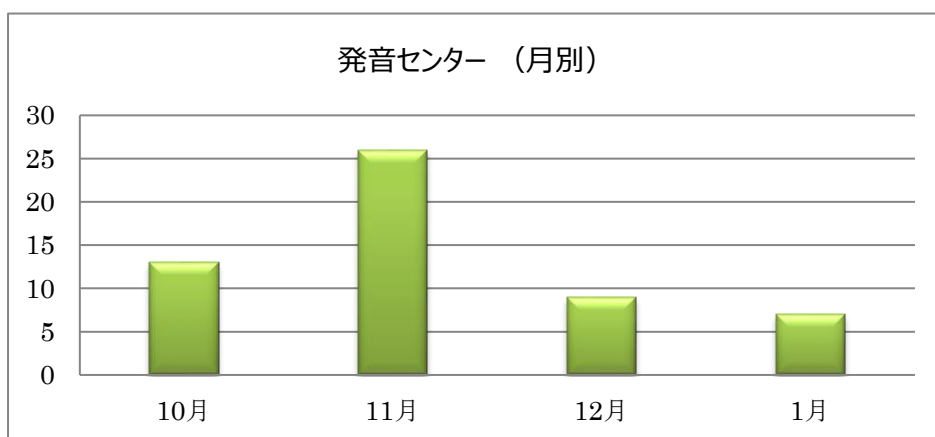
- ・ 第3タームには参加できても第4タームには参加できない学生もいて、運営が難しいところである。

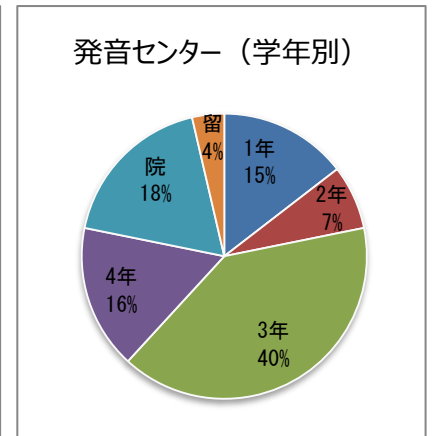
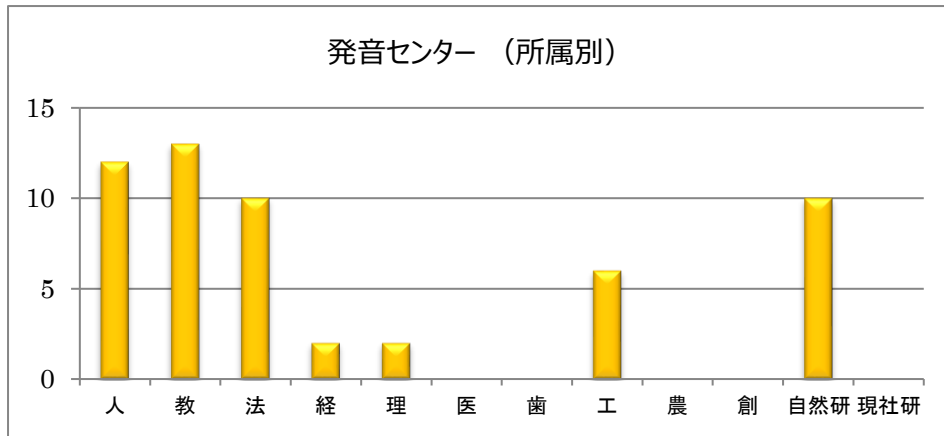
●アカデミック・ライティング・センター（3階グループ学習室にて実施）



毎週火曜 12:00-14:00 にライティング指導を実施した。（担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール）

●発音センター（3階グループ学習室にて実施）





毎週水曜 12:00-12:45 に発音指導を実施した。（担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール）

2. 授業期間後の活動

- 春休み英語チャット（2018年2月19日（月）～3月16日（金）、3月26日（月）～30日（金）

※2月26日、3月12日はお休み）

英語チューター 5名

参加者合計 94名

- 英語学習アドバイザーによる春休み集中 Study Groups（登録制）

海外英語研修準備：2018年2月19日（月）～21日（水）10時～12時、参加者 22名

春休み TOEIC：2018年3月19日（月）～23日（金）2限、参加者 10名

- 英語学習アドバイジング

2月利用者 7名

3月利用者 4名

- 英語学習チュートリアル

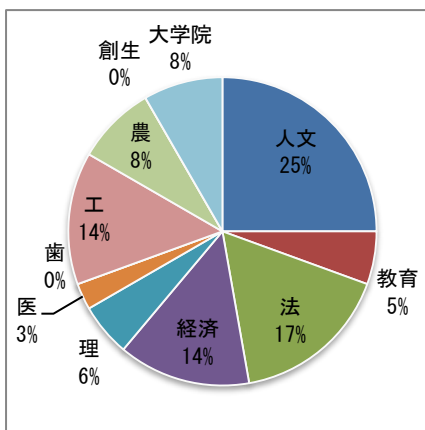
2月利用者 12名

3月利用者 6名

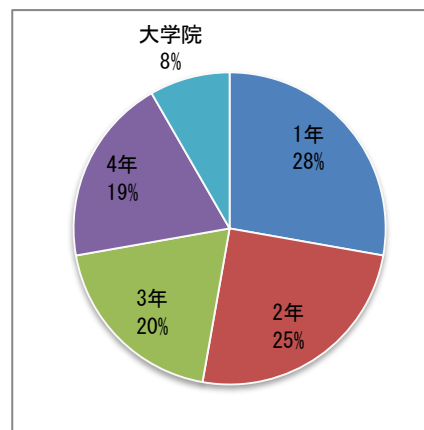
II. 英語チャット参加者へのアンケート調査結果

(2018年1月実施、自由記述部分は原文のまま)

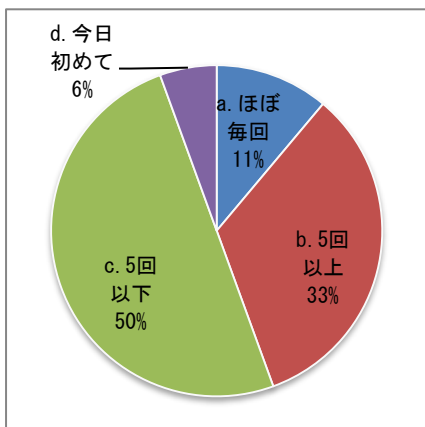
1. 所属



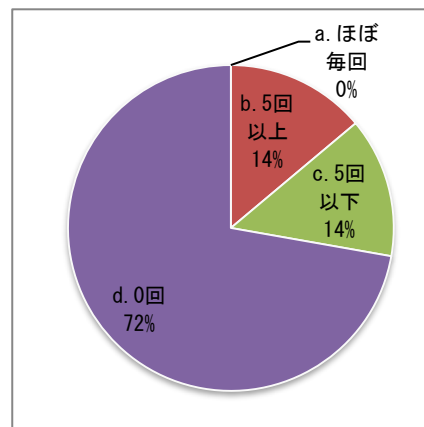
2. 学年



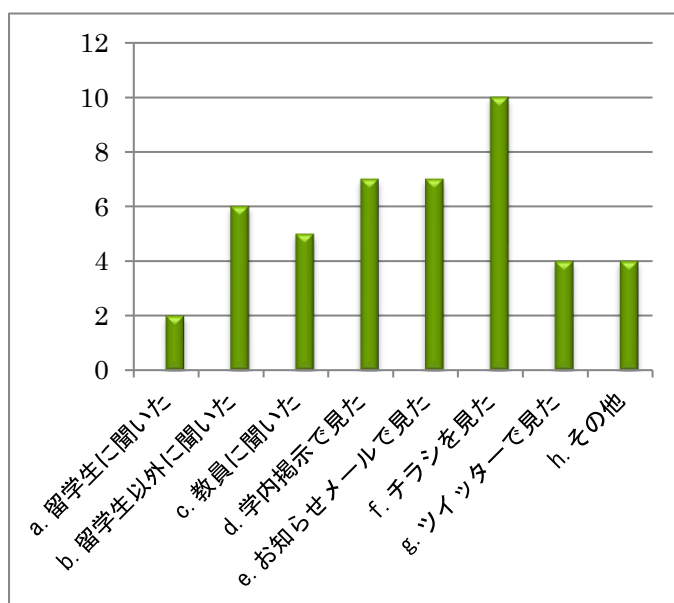
3. 今学期の英語チャット参加回数



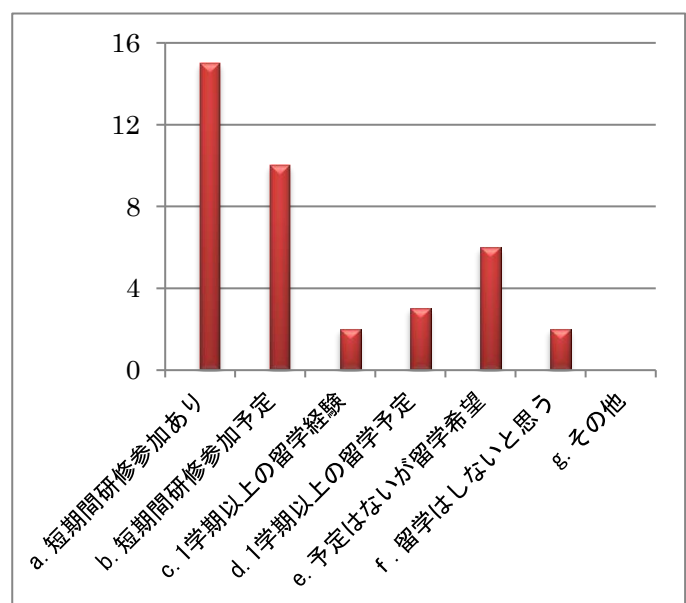
4. 今学期の初修外国語チャット参加回数



5. 英語チャットを何で知りましたか？※複数回答



6. 留学をしたことはありますか？※複数回答



7. 英語チャットに参加した動機は何ですか？

- ・ 英語の勉強を続けるため
- ・ Speaking を伸ばすため、楽しいから
- ・ 中学、高校で学んだ英語を忘れないようにするため
- ・ 英会話をすることができるようにするため
- ・ IELTS で使うスピーキング能力が弱いため
- ・ 英語力の向上 (5件)
- ・ 英語を使いたいから
- ・ 英語がうまくなりたいから
- ・ Speaking の力をつけたいと思ったから
- ・ 刺激を求めて
- ・ 大学院進学のため、TOEFL 勉強のため
- ・ リスニング・英語に親しむ

8. 英語チャットは、英語学習の点から具体的にどのように役立ちましたか？

<英語力強化・英語を話す機会>

- ・ 話す機会を得られる
- ・ 会話力が上がった
- ・ TOEIC のリスニングとリーディングのスピードが上がった
- ・ Speaking の機会です、非常に重要なものを与えてくれる
- ・ 留学生が話す英語を聞きとる点でリスニング力が身に付く
- ・ Speaking が達者になる
- ・ スピーキングとリスニング向上 (3件)
- ・ モチベーションの持続、リスニング向上
- ・ 英語の運用能力
- ・ output に役立つ
- ・ Speaking の力がついた (2件)
- ・ 英語を発する機会になっている
- ・ スピーキング能力があがる
- ・ スピーキング力が上がった
- ・ 会話の練習になった (2件)
- ・ やはり話す力
- ・ 英語でしゃべるのに慣れた
- ・ 実際に英会話をすることで、“使える英語”を学べる
- ・ ボキャブラリーが増えたと思う

<留学生や他の学生等との交流>

- ・ 異文化を知れた
- ・ 時々言いたいことが出てこないことがあるが、他の学生が話しているのを聞いて「こう言えばいいのか！」と上手く盗めること

- ・ 少人数だったので、分からないところを細かく教えてくれたり、話すのを待ってくれたりしてボキャブラリーが増えたと思う

<その他>

- ・ まだ分からない
- ・ 使う頻度がふえる
- ・ モチベーションアップ、コミュニケーションの向上
- ・ 話すことに抵抗がなくなった
- ・ 単語だけ覚えていてもいかに英会話だと言葉が出てこないかが実感できた

9. 英語チャットは異文化理解の点から具体的に役立ちましたか？

- ・ 色々な人と話せてよい
- ・ 様々な国の人と話す機会はなかなかないので、良い経験になった
- ・ 様々な国の文化、考え方に生で触れられる良いチャンス
- ・ 留学生の出身国の文化についてきくことができる。
- ・ お互い理解されがたいこと、理解し難い事がある
- ・ まだ分からない
- ・ バックグラウンドを具体的に知れたこと
- ・ 意外な点（車の免許について）で異なる文化を知ることができ、良かった
- ・ 同世代の声がきける
- ・ 色々な国の文化を知ることができた
- ・ 多国籍なチューターとの会話
- ・ 政治、食、教科書では聞かないゲームなどの趣味の点からも色々な話が聞けること
- ・ 渡航前の訓練
- ・ 考え方が違うから興味深かった。
- ・ 日本人はなまりをとにかく気にしすぎるし実感した
- ・ 面白い話をきけた
- ・ 色々な人がいるなあと知る点
- ・ 特になし

10. 英語チャットに参加して困ったことは？

- ・ 英語チャットをしているときに自分の腕時計を見るのがなかなか難しい（会話中に時計をみるのは一緒に会話をしている人に申し訳ないと思う）
- ・ 毎度の自己紹介
- ・ とっさにしゃべれない
- ・ もっと席を増やしてほしい
- ・ 初心者の方に参加したのに、上手に話せる人がいて会話の練習に参加できなかったこと
- ・ 私は本当に英語が苦手なビギナーズチャットでさえも、ついてくのが大変に感じた
- ・ 知らない英単語があったこと
- ・ 1テーブルでチューター同士がしゃべりすぎのとき
- ・ トピックが沢山ない

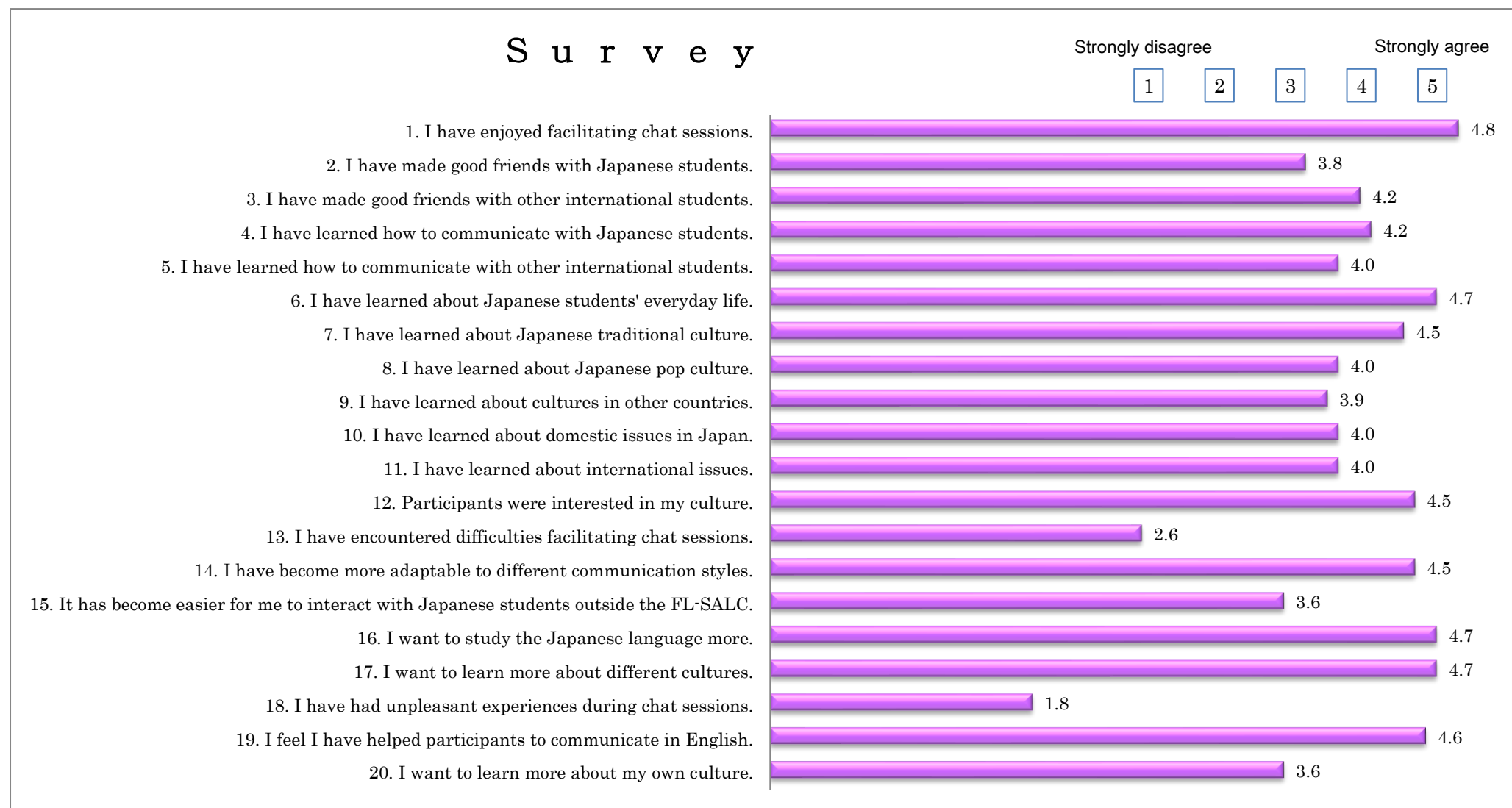
- ・ 自分が英語力が低い為表現が詰まったときに相手が日本をしゃべれない場合は会話が完全に止まってしまう。
- ・ 聞き取れないことがあった
- ・ ときどき人が多くてたいして話せないことがある
- ・ 特になし (13件)

11. 英語チャットを有意義なものにするアイデアは？

- ・ なし、情報発信し続ければ参加者も徐々に増加すると思う
- ・ 見やすいところに時計を置いてほしい
- ・ アイディア（お題）に縛られないで、自由に会話してみたいです。
- ・ 時おり話のネタに困る、何か大まかなテーマが欲しい
- ・ できるだけ1テーブル=1チューターを守ろう
- ・ Topicが週で同じなので、週に何回もくると同じ話になってしまうから変えるとか
- ・ もう少し細かく分けてもいいと思う
- ・ 特になし (3件)

II. 英語チューター（英語チャット担当の留学生）へのアンケート調査結果

（2018年1月実施、14名全員回答、自由記述は原文のまま）



質問（自由記述）：

- (a) What were your reasons for applying for the English Language Tutor position?
- (b) How has the experience as an English Language Tutor helped you?
- (c) What was it that you did not enjoy as an English Language Tutor?
- (d) For the betterment of chat sessions, do you have any suggestions?

英語チューター1

- (a) I was eager to make more friends and learn about student's motives in learning English.
- (b) I felt more welcomed and connected with international and Japanese students. I have learnt about their personal experiences and perspectives on certain social issues, which have been fascinating and eye-opening.
- (c) I cannot think of any unpleasant experiences. I enjoyed this platform of communication and people have treated me really nicely.
- (d) It would be wonderful if there were more games for the regular chat. We were facing the challenge of running out of topics for a while.

英語チューター2

- (a) As a student of Engineering faculty I don't have many opportunities to communicate in English, so this job was a good chance.
- (b) Helping me to work as a tutor.
- (c) Playing games, discussing different topics
- (d) more games: those we have now are good, but require at least intermediate English level, especially scrabble and taboo, so it is almost impossible to use them at beginners chats. However, such games are not only interesting but also educative. Moreover, some people participate in beginners chats twice or more times a week, and having same topics is not very interesting for them. Thus, I think it would be nice to have some really easy-level games so we can use them even in beginners chats.

英語チューター3

- (a) The reason why I want to apply for the English tutor position is that I want to communicate with both Japanese students and international students to learn more about their culture.
- (b) I think it help me a lot in gaining the communication skills and more knowledge in all aspects.
- (c) Sometimes it's a little bit hard to continue the talk if the participants have no interest in the topic.
- (d) Make the topic more interesting

英語チューター4

- (a) The English chat program has been recommended to me by other international students. I applied because I saw the English Chat as a good opportunity to meet a lot of new people and earn a bit of extra money.

- (b) It helped me looking at various topics and customs from a different angle since the German/European perspective is often different from – for example – the Japanese or Chinese perspective. Also, the chat sessions helped me keep my own English vocabulary sharp.
- (c) I want to emphasize that the experience has been overall positive. The only thing I struggled with was the sometimes extreme reserve and shyness that made it hard for me to get a fluent conversation going.
- (d) None.

英語チューター5

- (a) Ever since I was small, I really enjoyed speaking and communicating with people in English. Through joining English chat, I have been able to do so.
- (b) I was able to express more of myself in english language while helping other Japanese students to converse in english and this has somehow improve my communication skills.
- (c) I really enjoyed being English language tutor.

However, there are a few of my tutees that are quite passive when there were other tutees present even though I've been trying very hard to engage a conversation with them in english. I really understand how hard it is to communicate in english in terms of grammars and also confidence wise especially when english is not his/hers' first language. Thus being said all of this, I believe this should not be regarded as difficulties but more towards challenges in tutoring and helping those who are trying to be more fluent in english.

Next is about an unpleasent experiences. So far there has been only one time since I experienced this. On that specific day, I remembered waiting for my tutee friends to come and one person came. This person started with questions and statements of how unsatisfied he/she was with the tutor system as most of the tutors he met were neither American nor British. He/She said that this tutoring activity should be done by those native speakers.. honestly I was a bit taken back by the statement but I was far from being angry because I knew what he meant. I told him nicely that being an american or a british should not matter as long as you are able express yourself in the language, it's considered adequate. Anyway, that was the last time I met the person so I really didn't bother me that much as I believe that anyone and everyone should be able to help each other.

- (d) I believe this English chat is actually more than enough for someone who wants to improve his or her English skills. They just have to keep practicing.

英語チューター6

- (a) I wanted to get to know more Japanese students and other International students. Also by meeting Japanese students I wanted to learn more about Japan and Japanese culture. Another very important reason for me to apply for this tutor position is to bring some variety in to my University life, other than just doing research.
- (b) It helped me to bring more variety in to my university life. And more importantly it sometimes relieved my pressure of doing stressful research. It helped me socially as well. For Example, I

learned to manage the different ideas of several people and come to a common talking point.

- (c) I did not have any particular thing that I did not enjoy as an English Language tutor. I enjoyed it very much.
- (d) I think it is been planned and conducted very well. Including games in to the beginners chat would be a good option. Currently, games are being used in the regular chat. However, in my opinion those games are simple enough to do in the beginners chat also. It gives different topics to discuss within one session.

英語チューター7

- (a) The desire to want to contribute to the English-learning community here in the university and to also understand more about the Japanese culture and how the Japanese view their own society as well as their view of the world.
- (b) Being an English Language Tutor has helped me learn to listen to others better and moderate conversations in a group. It has also enable me to learn how to cope with different types of learner and to use various methods in motivating the tutees to speak in English. In addition, I am able to also identify the difficulties that English Language learners face when practicing to speak in English (from a Japanese context).
- (c) I did not really enjoy when participants were not giving much feedback in the conversations.
- (d) Regular Chat:-

If its possible to utilise media in the chat sessions. Participants can use that as a stimulus to start conversing with the tutors. Example, commenting on a video or a short film.

To have a game of 'Hot Seat', in which, participants will randomly select a topic from a 'topic box' and talk about it for 2-3 minutes. This can be followed by questions from participants or facilitators.

英語チューター8

- (a) Before I become an English Language Tutor, I barely had any chance to speak in English every day. Since I had some free time during lunch hour in 3rd year, I want to use it wisely. By becoming an English Language Tutor, I can help the Japanese students to improve their English skills, as well as my own.
- (b) I get to learn many new vocabulary each time I attend a session. I also think that becoming an English Language tutor has improved my communication skill and I also got to meet many new friends, from all over the world.
- (c) I found it was very hard to find a topic that everybody can enjoy and talk together because not everyone has the same interest. I also hope that the participants in my session will talk more so that I can help them to improve their English skill.
- (d) No, I do not have any suggestion because I think what the FL-SALC had provide were good enough.

英語チューター9

- (a) I've always been interested in speaking English, learning about other's culture and sharing mine. In the future, I might become a teacher (French teacher for no French native speakers) so participating to these sessions was a benefit and a good experience I hope to renew !
I also was a really pleasant job to earn a little extra money.
- (b) I already had an experience of teaching so I knew how to lead a conversation. But repeating again
and again, each week, the process helped me to improve my teaching technical.
- (c) Sometimes, I really wanted to do some sessions with other tutor, like doing a game together.
- (d) Have more games ! I really do think that games are a good way to learning without don't be annoyed. If I could recommend you a game, it will be for sure "Dixit". It's a game with pictures you have to explain.

英語チューター10

- (a) I wanted to improve my english' skills.
- (b) I think I learned new vocabulary, and know I can understand people who speak with an accent.
- (c) Nothing.
- (d) Even for the beginner session, I want to speak freely with the participants because sometimes, the subjects are not really interesting. Or, choose the subject, I don't really like that the subject is set to us.

英語チューター11

- (a) I want to improve my English level and to meet new people.
- (b) It was very interesting.
- (c) I enjoyed every chat session.
- (d) To be in very small group (1 or 2 people max) it's better for Japanese people who don't like to speak in front of others.

英語チューター12

- (a) Because it was an opportunity for me to continue to speak English even in Japan and to meet people
- (b) It helped me to search vocabulary sometimes and to discuss about various topics
- (c) Very few students come regularly. Some people just want to listen and do not want to speak
- (d) I have no suggestions. I think this is really helpful for students who come regularly. Topics for beginners are also interesting I think.

英語チューター13

- (a) To brush up my English and improve my communication with others.
- (b) A lot, I now have much more confident in speaking English
- (c) Maybe when speaking to Japanese who don't want to speak English
- (d) Just an Idea though, how about bring an English chat to a place where we can drink some coffee

while we talk. I might be more enjoyable

英語チューター14

- (a) Make more Japanese friends through this programme.
- (b) I did make new friends and learn more about Japanese culture from this programme.
- (c) I do not have any.
- (d) I think we probably need to encourage more Japanese students come to FL-SALC.

教育・学生支援機構グローバル教育センター ハドリー浩美
学務部教務課 (FL-SALC アシスタント) 江部早苗